

鳥取県の推計人口（年報）

【令和6年10月～令和7年9月】

鳥取県人口移動調査において、1年間（令和6年10月～令和7年9月）の状況を下記のとおり取りまとめました。

記

I 鳥取県の推計人口

鳥取県の推計人口は524,535人、535人で、前年に比べ6,550人減少し、平成8年以降30年連続の減少

令和7年10月1日現在の鳥取県の推計人口は524,535人で、前年に比べ6,550人減少し、世帯数は222,487世帯で、前年に比べ427世帯増加した。

年	人口（人）			人口性比 （男性/女性）×100	世帯数（世帯）	1世帯当たりの 人員（人）
	総数	男	女			
令和7年(a)	524,535	251,099	273,436	91.8	222,487	2.36
令和6年(b)	531,085	254,153	276,932	91.8	222,060	2.39
対前年差(a-b)	-6,550	-3,054	-3,496	0.0	427	-0.03

老年人口は598人減少し、3年連続の減少

年齢3区分別の構成割合は、年少人口は11.8%、生産年齢人口は54.0%で、ともに過去最低、老年人口は34.2%で過去最高

年齢3区分別の人口を前年と比べると、すべての区分で減少となり、年少人口は1,797人、生産年齢人口は4,155人、老年人口は598人の減少であった。

区 分	人 口（人）	構成割合（%）	対前年増減（人、ポイント）	
年少人口（0～14歳）	60,882	11.8	-1,797	-0.2
生産年齢人口（15～64歳）	278,971	54.0	-4,155	-0.1
老年人口（65歳以上）	176,653	34.2	-598	0.3
うち75歳以上	101,490	19.6	1,780	0.5

II 人口動態

自然増減は5,158人の減少となり、平成10年以降28年連続の減少

社会増減は1,392人の減少となり、平成13年以降25年連続の減少

1年間の人口増減のうち、自然増減は5,158人の減少、社会増減は1,392人の減少で、合計6,550人の減少となり、人口増減の減少幅は前年に比べ317人拡大した。

自然増減は平成10年以降28年連続の減少となり、減少幅は前年に比べ227人拡大した。

社会増減は平成13年以降25年連続の減少となり、減少幅は前年に比べ90人拡大した。

県外転入者数は9,275人で前年に比べ341人減少し、県外転出者数は10,667人で前年に比べ251人減少した。

区 分	人口増減	自然増減			社会増減	社会増減	
		自然増減	出生	死亡		県外転入	県外転出
令和7年(a)	-6,550	-5,158	3,006	8,164	-1,392	9,275	10,667
令和6年(b)	-6,233	-4,931	3,125	8,056	-1,302	9,616	10,918
対前年差(a-b)	-317	-227	-119	108	-90	-341	-251

注) 自然増減とは出生と死亡による人口の増減をいい、社会増減とは県外転入と県外転出による人口の増減をいう。

出生数は3,006人となり、昭和50年以降で過去最少を更新

死亡数は8,164人となり、3年連続8,000人を超過

出生数は、令和7年は3,006人で前年に比べ119人減少し、過去最少を更新した。

昭和50年の8,735人から概ね減少傾向であり、昭和63年に7,000人を割り込み6,000人台となり、平成5年に5,000人台、平成21年に4,000人台、令和2年からは3,000人台となっている。

死亡数は、平成2年ごろまでは5,000人前後で推移していたが、それ以降は増加傾向となり、平成15年には6,000人台、平成25年に7,000人台、令和5年に8,000人台となり、令和7年は8,164人で、3年連続8,000人を超過した。

Ⅲ 市町村別推計人口

1 市町村別の推計人口

推計人口が最も多いのは鳥取市の180,021人、最も少ないのは江府町の2,329人

市町村別で推計人口が最も多いのは鳥取市の180,021人、次いで米子市の143,060人であり、最も少なかったのは江府町の2,329人、次いで若桜町の2,384人であった。

2 年齢3区分別人口

(1) 年少人口

前年と比べると、年少人口は17市町で減少

年少人口割合は14市町で低下

年少人口は前年と比べ、日吉津村、江府町以外の17市町で減少した。

年少人口割合は日吉津村の15.8%が最も高く、次いで湯梨浜町の14.1%であった。

前年と比べると、日吉津村、江府町で上昇し、若桜町、湯梨浜町及び日南町で同水準、鳥取市など14市町で低下した。

(2) 生産年齢人口

前年と比べると、生産年齢人口は19市町村すべてで減少

生産年齢人口割合は16市町村で低下

生産年齢人口は前年と比べ19市町村すべてで減少した。

生産年齢人口割合は米子市の56.9%が最も高く、次いで鳥取市の56.4%であった。

前年と比べると、米子市、琴浦町及び伯耆町で同水準、鳥取市など16市町村で低下した。

(3) 老年人口

前年と比べると、老年人口は3市町で増加、岩美町で増減なし、その他の市町村で減少

老年人口割合は日吉津村以外の18市町で上昇

老年人口は前年と比べ、鳥取市で8人、湯梨浜町で23人、日野町で1人増加、岩美町で増減なし、その他の市町村で減少した。

老年人口割合は日南町の56.2%が最も高く、次いで日野町の56.0%であった。

前年と比べると、鳥取市など18市町で上昇し、日吉津村で0.3ポイント低下した。

Ⅳ 市町村別人口動態

人口増減は日吉津村以外の１８市町すべてで減少

人口増減は、日吉津村で８人増加、その他の市町で減少し、そのうち最も減少したのは鳥取市の２,１８６人（自然減少１,４４９人、社会減少７３７人）、次いで米子市の９４４人（自然減少９３７人、社会減少７人）であった。

自然増減は１９市町村すべてで減少

自然増減は、１９市町村すべてで減少した。最も減少したのは鳥取市の１,４４９人、次いで米子市の９３７人であった。

社会増減は３町村で増加し、１６市町で減少

社会増減は、湯梨浜町５０人、伯耆町４３人及び日吉津村１３人の３町村で増加し、１６市町で減少した。最も減少したのは鳥取市の７３７人、次いで琴浦町の１５８人であった。

県外転入者で最も多いのは、島根県から米子市への６６１人

県外転出者で最も多いのは、鳥取市から大阪府への５３５人

県外転入者は島根県から米子市への６６１人が最も多く、次いで外国から鳥取市への４９５人であった。

県外転出者は鳥取市から大阪府への５３５人が最も多く、次いで米子市から島根県への５１７人であった。

(単位:人)

都道府県	転入					転出				
外国	総数	鳥取市	米子市	境港市	その他	総数	鳥取市	米子市	境港市	その他
	1,456	495	339	110	512	875	346	150	81	298
島根県	総数	米子市	鳥取市	境港市	その他	総数	米子市	鳥取市	境港市	その他
	1,151	661	181	146	163	1,093	517	222	141	213
大阪府	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他
	808	268	216	84	240	1,370	535	362	111	362
兵庫県	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他
	734	366	158	51	159	967	435	259	74	199
広島県	総数	米子市	鳥取市	倉吉市・境港市(同順位)	その他	総数	米子市	鳥取市	境港市	その他
	709	309	217	48	87	771	316	277	52	126
岡山県	総数	米子市	鳥取市	倉吉市	その他	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他
	679	257	239	76	107	771	294	275	65	137
東京都	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他	総数	鳥取市	米子市	境港市	その他
	598	219	201	48	130	1,012	369	328	71	244